

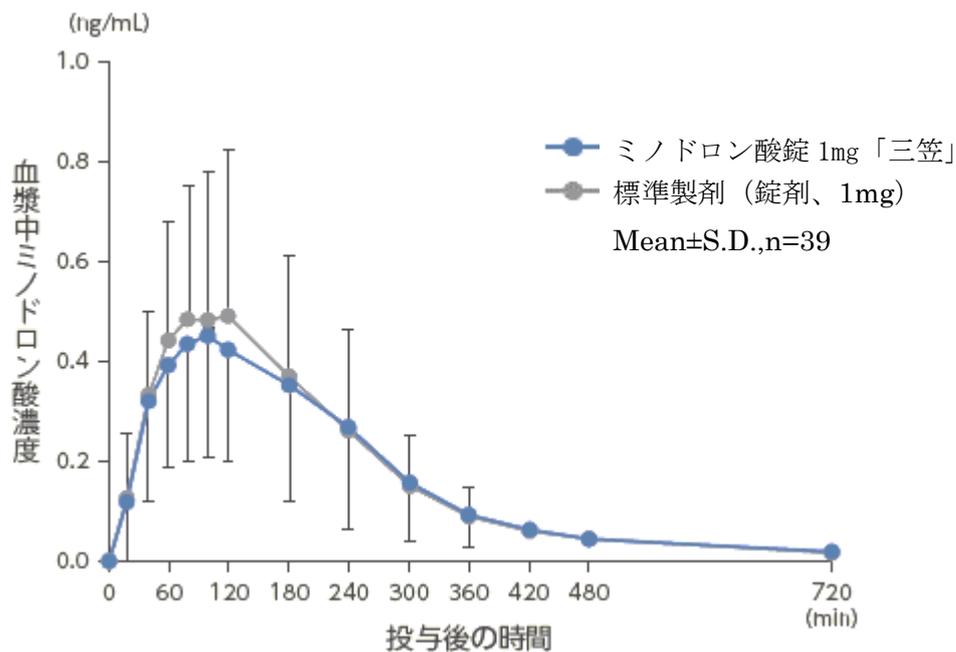
## ミノドロン酸錠 1mg「三笠」の生物学的同等性に関する資料

ミノドロン酸錠 1mg「三笠」と標準製剤を、クロスオーバー法によりそれぞれ1錠（ミノドロン酸水和物として1mg）健康閉経後女性に絶食単回経口投与して血漿中未変化体濃度を測定し、得られた薬物動態パラメータ（AUC、Cmax）について90%信頼区間法にて統計解析を行った結果、それぞれ  $\log(0.8385) \sim \log(1.1292)$  及び  $\log(0.8160) \sim \log(1.1226)$  と、 $\log(0.80) \sim \log(1.25)$  の範囲内であり、両剤の生物学的同等性が確認された。

### 薬物動態パラメータ

	判定パラメータ		参考パラメータ	
	AUC <sub>0-720</sub> (ng・min/mL)	Cmax (ng/mL)	Tmax (min)	T <sub>1/2</sub> (min)
ミノドロン酸錠 1mg「三笠」	116.12±63.69	0.54±0.25	101±58	168±71
標準製剤 (錠剤、1mg)	121.32±70.80	0.58±0.32	93±46	181±105

(Mean±S.D., n=39)



血漿中濃度並びに AUC、Cmax 等のパラメータは、被験者の選択、体液の採取回数・時間等の試験条件によって異なる可能性がある。

【引用文献】 三笠製薬株式会社 社内資料： 生物学的同等性に関する資料

以上